

## 令和元年度 第1回東郷町総合計画審議会 議事要旨

開催日時	令和元年12月5日(木) 15:00~17:00
開催場所	東郷町役場3階 政策審議会室
出席者	秀島栄三(会長)、佐野治(副会長)、小出直美、寺澤秀治、小野田哲也、杉原辰幸、荒木裕子、井料美帆、石切山智子、磯村敏文、高岡俊彦、野々山利博
欠席者	金田英和、宇都宮みのり
事務局	磯村企画部長、木本企画情報課長、清井企画政策係長、清水主事、宮崎主事
傍聴者	2名
次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1 町長あいさつ</li><li>2 委嘱状交付</li><li>3 委員及び事務局自己紹介</li><li>4 会長及び副会長の選出</li><li>5 諮問</li><li>6 議題<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 総合計画策定について</li><li>(2) 総合計画策定体制及びスケジュール</li><li>(3) 意識調査結果等について</li></ol></li></ol>
配布資料	資料1：東郷町総合計画審議会条例 資料2：東郷町総合計画審議会名簿 資料3：第6次東郷町総合計画策定方針(案) 資料4：第6次東郷町総合計画策定体制 資料5：第6次東郷町総合計画策定スケジュール 資料6：第6次東郷町総合計画策定に向けた基礎調査報告書 参考資料1：平成30年度東郷町住民意向調査報告書 参考資料2：住民ワークショップ(TOGO まちづくりカフェ) 募集チラシ

【議事概要】

(1) 総合計画策定について

発言者	内容
会 長	議題(1)の総合計画策定について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料3を説明)
会 長	今回は第1回目の会議となりますので、お1人ずつ自己紹介を兼ねてご発言をいただければと思います。
副会長	地域のつながりや福祉サービスの効率的な運営など、様々な福祉の問題を早期に発見し、早期解決につなげていく観点からご協力できればと思っています。
委 員	今、子どもたちがどんどん変わってきているので、それに伴い我々大人も変わっていく中で、お母さんたちの支援をしていきたいと考えています。
委 員	障がい者や高齢の方と関わらせていただいています。障がいをお持ちであろうがなかろうが、「困った人」ではなく、「困っている人」という視点から取り組みを進めています。「困っている人」に対し、どのようにアプローチするかについて、抜けている視点や手の届かないところもあると感じています。
委 員	昨今、情報収集手段は SNS 等多様化していますが、高齢者やスマートフォンを利用しない方などへの情報発信の手段として、テレビはまだ有効であると考えています。総合計画には「安全・安心」という分野がありますが、テレビにも防犯や防災に関するチャンネルを新しく設け、テレビを通して少しでも早く情報を届ける取り組みを今後進めていく予定ですので、寄与できればと考えています。
委 員	第5次総合計画が間もなく終わりますが、総括はされたのでしょうか。
事務局	第5次総合計画の総括については、第6次総合計画の策定と並行して進めています。次回、提示させていただきます。
委 員	免許証を返納した高齢者の移動や行動等が大変不便な状況にあり、生活に支障が出てしまうことから、それらを配慮した交通体系を作るべきだと考えられます。 また、全国で子どもが毎日のようにあちこちで命を失っている状況にありますが、あってはならないことだと思います。家庭や行政など、みんなで子どもを育てていくという考えがないと今後問題が起こるかもしれないという気がします。 若い方が生活し、子育てしやすい町とすることも非常に大切です。
委 員	近年では、バス事業者のドライバーの高齢化から、ドライバーの確保が難しく、公共交通自体を維持することも難しくなっているということを様々な自治体から伺っています。そんな中、高齢者、子ども、子育て世代等、様々な世代の足の確保、モビリティの確保のためにどうしたらよいかが問題となっています。これからの交通をどのように考えていったらよいかに関して議論していければと思っています。 「コンパクト・プラス・ネットワーク」という考え方がありますが、東郷町の場合、現在は「交通の拠点」が他の市町にある状況です。ららぽーとができることで変わるかもしれませんが、町の中に「交通の拠点」がない中で、拠点や軸の考え方をどのようにしたらよいかについても考える必要があると考えています。
委 員	これまで東日本大震災や熊本地震等で、地域復興に立ち会うことが多くありました。被災前に地域のことを地域の人たちでどれだけ考えられてきたかということが、

	<p>早い復旧復興のポイントになると感じています。復興計画と同じく、総合計画も法的に作ることを求められているものではありませんが、策定することは非常に意味のあることだと思います。でき上がった計画も重要ですが、策定過程において住民一人ひとりに「自分たちの町のことを考える」という意識を持っていただくことが非常に重要だと思います。そういった意味で、資料3に示されている3つの策定方針は重要なことだと思います。</p>
委員	<p>資料3(2)に「自然災害の頻発」とあります。資料6の2-13ページには全国と愛知県、東郷町のCO<sub>2</sub>排出量の比較がありますが、国や県と比べると東郷町はCO<sub>2</sub>の削減率が横這いで、CO<sub>2</sub>排出量が多いように見えます。CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みは、国、県、町で一体となって考えていかなければならないと思います。</p> <p>第5次総合計画に「生きる力を育む」とありますが、「生きる力」とは、自然事象、科学事象など、自ら課題に向かって立ち向かう姿勢だと考えます。友達や地域の人たちの教えに対し、なるほどとうなずけ、発見でき、そして体験や知識から試行錯誤して課題を解決できる子どもたちを育てることが非常に大切だと思います。</p>
会長	<p>多面的に議論していきたいと思っています。</p>
委員	<p>町内の農地をどうしていくかは重要な課題だと思います。様々なご意見をいただけたらと思います。</p>
委員	<p>農業は、東郷町のキャッチコピーである「緑と水とポート」の中の「緑と水」を育む重要な要素となります。東郷町は都市近郊に位置し、将来的に緑を維持するために、農業の基盤をどうしていくか、農地を保全していく場合にはどうしたらよいか、後継者をどうしていくかなどが問題となっています。</p>
委員	<p>総合計画は、小中学校に通っている子どもたちが、これからの10年で東郷町を好きになって生活してもらうための計画にしたいと思っています。</p> <p>文科省がコミュニティスクールの設置を推奨していることもあり、総合計画の中でも地域のつながりを大切にいく部分を盛り込んでいただけたらと思います。</p> <p>自然災害も多くなってきていますが、学校の内部を見ると、避難所にするには十分でないところが多々見られます。防災の中に、学校の観点も加えて総合的に考えていただけたらと思います。</p>
会長	<p>防災に関して補足があればお願いします。</p>
委員	<p>学校施設の耐震化を行っても、天井や附属物が崩壊し、避難所として使えないということは起こり得ます。その際にどれだけ地域で踏ん張れるかが重要になると思います。車中泊や民間施設への避難など、トータルでの地域防災力が重要となります。今後、一緒に考えていけたらと思います。</p>
会長	<p>第6次総合計画策定方針について、他にご意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>町長がどのようなビジョンを持っているかを最初に示していただいた方が、我々は取り組みやすく、意見も出しやすいと思います。ぜひ次回、町長に話していただく機会を設けていただきたいと思います。</p>
会長	<p>審議会は、諮問という形で、町長の意向を踏まえた議論ではなく、我々が町長に提案していくものとなります。</p>
委員	<p>審議会の立場は理解していますが、それでもあえて聞きたいと思っています。</p>

会 長	マニフェスト等、何かまとまったものはあるのでしょうか。
事 務 局	マニフェストや施政方針等、町長の意向を表明したものがあります。どのような形で進めるのがよいかも含め、調整させていただきます。
委 員	第5次総合計画の策定方針との違いがあれば教えていただきたいと思います。
事 務 局	第5次総合計画を策定した約10年前には、総合計画の下位にぶら下がる個別計画が今ほど充実していなかったことから、第5次総合計画の中で細かな施策や目標値を設定していました。今回は町の最上位計画として、町民にわかりやすく、理念に近いような内容とし、細かい部分は個別計画に委ねることを想定しています。
会 長	審議会での議論が大雑把になるということではありませんので、どのようなご発言もお受けしたいと思います。

## (2) 総合計画策定体制及びスケジュールについて

発 言 者	内 容
会 長	議題(2)の総合計画策定体制及びスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。
事 務 局	(資料4、資料5を説明)
会 長	事務局の説明に対し、ご意見やご質問があればお願いします。
委 員	スケジュールの(2)に将来人口推計及び現状分析とあり、「他都市との比較、強み・弱みのとりまとめ」が10月までとなっています。どのような状況であるかを教えていただけたらと思います。
事 務 局	「他都市との比較、強み・弱みのとりまとめ」は、次回提示させていただきます。
委 員	アンケートの回答は多く集まったのでしょうか。
事 務 局	平成30年度に実施した住民意向調査は、5,000件を対象として2,086件のご回答をいただいています。 今年度新たに実施したものでは、本町の中学2年生を対象とした「中学生アンケート」で約430件、東郷高校1年生を対象とした「高校生アンケート」で約240件、町民活動団体を対象とした「団体ヒアリング」では5団体、町内事業者を対象とした「事業者アンケート」では200件送付して約80件の回答をいただいています。それ以外に、区・自治会アンケートのほか、イベントを通じたアンケートで100件程度の回答をいただいています。
委 員	学生の母数がわからないのですが、回収率ほどの程度になりますか。
事 務 局	中学生、高校生につきましては、対象とした学年のほぼ全員から回答をいただいています。
委 員	町外の方に東郷町のイメージなどを聞いたことはありますか。
事 務 局	「東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度に策定していますが、その際に東郷町から転出された方を抽出し、アンケートを実施したことはあります。インターネット等での無作為抽出によるアンケートは実施したことはありません。
委 員	町を出た方の追跡調査をされたということですね。
事 務 局	あわせて、直近に転入された方についても東郷町を選んだ理由などを尋ねるアンケ

	ートを平成 27 年度に実施しています。これらも参考にしていけたらと思います。
委員	外からの視点は違ったものが見えてくるので、参考にされるとよいと思います。
会長	町民の関心をいかに集めるかも大切なことですが、パブリックコメントが 0 件であった、などといったことがないようにあってほしいと思います。また、配布資料の中のチラシは住民参加に関わりがあると思うのですが、いかがでしょうか。
事務局	2 月に予定しているワークショップの募集チラシとなります。

### (3) 意識調査結果等について

発言者	内容
会長	議題(3)の意識調査結果等について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料 6 を説明)
会長	事務局の説明に対し、ご意見やご質問があればご発言をお願いします。
委員	1-3 ページの満足度評価点の変化で、「I 健康で元気に暮らせるまち」は、満足度が下降し、重要度が上昇しています。どのように解釈したらよいでしょうか。 社会福祉の分野では、町や民生委員の方々が頑張ってくれていますが、まだ課題はあると思います。長久手市では先進的な取り組みとして、各小学校区で地区福祉協議会を作っており、これは東郷町でも必要なことだと考えられます。
事務局	同じ項目に対して満足度と重要度の両方を回答していただいています。さらに、平成 27 年度と平成 30 年度の満足度と重要度を比較し、意識の変化を確認しています。
会長	1-8 ページに満足度と重要度を表わした分散図がありますが、満足度が低く重要度が高いものが優先的に取り組む必要があるものとして赤枠で示されています。その中には社会福祉の課題はあまり入っていないように見受けられます。
委員	1-8 ページの分散図は 2 次元にプロットしてあり見やすいですが、平成 27 年度から平成 30 年度の変化量をつなげてプロットすると、どういものがより満足度・重要度が上下したのかを見ることができます。 今後 10 年間の計画を考えていくにあたり、重要度が大きく伸びているものや満足度が著しく下がっているものがあれば、何らかの対応が必要であると考えられます。
事務局	次回ご提示できるように整理を進めます。
副会長	総合計画と福祉の問題は表裏一体といえます。1-10 ページで上位に「公共交通機関の充実」、「医療体制の充実」、「高齢者の福祉の充実」の 3 つがありますが、地域包括ケアシステムで「高齢者の福祉の充実」と「医療体制の充実」がカバーできます。また、「公共交通機関の充実」については、交通の利便性、買い物の利便性が低いといった問題が大きくなっていますが、地域での助け合いの中での移動支援が盛り上がってきています。「道路の整備」は別として、上位にあるものに関しては、地域福祉計画がうまく実行されると随分解決されます。 問題は横串で刺すということです。町の内部、社会福祉協議会の内部、町と社会福祉協議会など、各種横の連携がうまくいかないと、問題が根本的に解決できないということになってしまいます。そのための努力が必要で、我々の課題であるといえます。
会長	つい要素に分解して、それぞれをこなしていく感じになってしまいがちですが、計画の完成時に一貫性が保てるかについて検証しなければいけないと思います。

委 員	事業レベルの目標指標に関しては個別計画に委ねるとの説明がありました。総合計画を策定した後で、個別計画を全て見直すということになるのでしょうか。
事務局	関連する個別計画は策定期間がそれぞれ異なっています。総合計画の策定とあわせて、すぐに見直しをするわけではありません。
会 長	次回個別計画を策定する際に、反映するというのでしょうか。
事務局	はい。次回個別計画を策定するには、総合計画を踏まえての計画づくりが大前提となります。
委 員	個別計画は、策定年次がばらばらになっています。それぞれの計画が個別に進み、その上に総合計画が乗っているという形になってしまうのではないのでしょうか。
事務局	総合計画と個別計画のつながりがなくなることはないように、整合を図りながら考えていきたいと思っています。
委 員	総合計画があって、その精神を理解したうえで個別計画に反映する形でないと、総合計画がひとり歩きする危険性があるのではないのでしょうか。
事務局	現実的には策定期間が異なるという問題はあります。
委 員	個別計画についても、ある段階で示していただかないと、総合計画との整合性を精査できないように思います。
委 員	総合計画に産業政策をどのように反映していくかということは重要だと思います。町内の農地を今後どうしていくのかについて、町としての政策方針を示すことは必要ではないのでしょうか。 ららぽーとと既存のスーパーとの関係性や、道路政策や移動手段についてもどのように位置付けていくかなど、町として国や県への働きかけを含めた総合的な方針を明確にすることが大切だと思います。 予算に関しては示されていませんが、限られた予算の中で、国の交付金なども含めて、政策決定をしていく必要があると考えられます。
会 長	財政面には触れませんが、町の指針を作るということでまとめていきたいと思っています。
委 員	基礎調査報告書にある分析は今後も進めるのでしょうか。評価が上がっているものの要因ももちろんですが、評価が顕著に下がっているものについて、掘り下げて見ていただけるとよいと思います。
事務局	次の方向性を考えるうえで、原因を分析していくことは重要と考えています。計画案を策定していく作業と並行して進めていきたいと思っています。
委 員	知見のある方で検討することや、要因がわからなくてもどうカバーするか議論することなどが重要だと思います。
会 長	定量的な分析とともに、定性的な面から、インタビューやヒアリングなどを行って分析するということになるのでしょうか。
委 員	なぜ悪くなっているかやなぜ良くなっているかをみていく必要はあると思います。
委 員	事務局だけで考えるのではなく、審議会場で議論すべきことかと思っています。
委 員	事務局に提示いただくのか、ここで議論するのか、決めていただければと思います。
会 長	各委員から疑問点や気になる点について事務局へ直接伝えていただいて、事務局は

	<p>可能な範囲で調べていただきたく思います。それでもわからない時には審議会に戻していただき、議論したいと思います。</p>
委員	<p>先ほど、「横串で」という議論がありましたが、年齢層を別々に考えるのではなく、コミュニティとして一体的に考えなければいけないと思っています。自分たちが年齢を重ねた時に、どのようにこの町で暮らしているかが見えてくるような町が必要だと思います。公共交通に関しても、町内にどんな公共交通の手段があって、どこに移動できるのかということを示していく必要があります。それが、子どものころから使えるものになっていて、高齢になっても使えるということを示していくことも必要だと思います。</p> <p>昼夜間人口比率が他の市町と大きく違っています。町の転出入の状況がどのようになっているのかや、転出入者の年齢層などがわかると、東郷町に住んでいる人がどう暮らしているのかということももう少し見えてくる気がします。住民の皆さんがどういう人生設計をしているのかが見えるようなものがあるとよいと思います。</p>
会長	<p>時々あるのがペルソナというもので、例えば「45歳、男性、会社勤務」の人がここに住んだらどういう生活になるのか、総合計画を作ったらそれがどう変わるのか、そういうことを示すのも一つの方法かと思っています。横串もそうですが、議論した後に全体を見直し、納得のいく全体像ができていくかを最後の審議会等で確認することも考えられます。</p> <p>また何かありましたら事務局にお伝えいただくということでよろしく申し上げます。以上で本日の議題を終了します。ありがとうございました。</p>